

米国及び英国との共同訓練



第804号
令和7年12月3日

統率方針
「北方の誇り」
要望事項
「強靱」
「信頼」

発行：北部方面總監部広報室

米海兵隊との実動訓練 レゾリュート・ドラゴン25

日米の連携強化



米海兵隊との調整

北部方面隊（總監井土川陸将）は、第2師団（師団長 大場陸将）を主力として、9月11日（木）から25日（木）の間、北海道大演習場等において、西部方面隊が担任する、米海兵隊との実動訓練（レゾリュート・ドラゴン25）に参加しました。

本訓練は、日米同盟の抑止力・対処力の強化と、共同して作戦を実施する際の日米の連携強化及び共同対処能力を向上させることを目的として実施され、日米共同の調整所の開設、島嶼防衛作戦にお



日米共同調整所における米海兵隊との調整



対空戦闘における統制・調整



攻撃前進する10式戦車



対空戦闘（中距離地对空誘導弾発射装置）



米海兵隊との共同



日英隊員による調整



英陸軍指揮官と第5旅団長

方面隊は、第5旅団（旅団長 岸良陸将補）を主力として実施され、11月5日（水）から20日（木）までの間、北海道大演習場、南恵庭駐屯地等において、英陸軍との実動訓練（ヴィジラント・アイルズ25 ※1）を実施しました。

本訓練は、対空上陸作戦における作戦遂行能力の向上及び陸上自衛隊と英陸軍との相互理解・信頼関係の促進を目的とし、情報、監視、目標捕捉・偵察と連携した戦闘行動及び対空上陸作戦を想定した行動（共同ヘリボン作戦（ヘリコプターから降着し部隊を機動展開させる作戦）、共同反撃等）を演練しました。

方面隊は、引き続き国民・道民の皆様の平和な暮らしを護るため、万全を期するとともに、

相互理解・信頼関係の促進

英陸軍との実動訓練 ヴィジラント・アイルズ25



共同衛生訓練における患者空輸



共同図上訓練



ISTAR訓練（※2）



共同ヘリボン訓練



記念撮影

望ましい国際安全保障環境の構築に寄与して参ります。

※1 ヴィジラント・アイルズ：「常に目を光らせている島」を意味し、ユーラシア大陸の両端に位置する島国である日英両国が密接に連携しつつインド太平洋地域の平和実現に寄与するという両国の方針に由来した訓練

※2 ISTAR: Intelligence, surveillance, target acquisition, and reconnaissance（情報、監視、目標補足及び偵察）



本訓練の
シンボルマーク

北海道原子力防災訓練

関係機関との連携強化

方面隊は、10月29日(水)共和町、積丹町、古平町、余市町等において、北海道が主催する原子力防災訓練に参加しました。

本訓練では関係機関と連携し、車両の除染等の原子力災害医療活動、孤立した地域からの住民避難、ドローンによる情報収集・共有及び必要なシステム通信構成等の演練をしました。

また、北海道庁に開設された災害対策本部に連絡員を派遣するとともに、共和町に所在する緊急事態応急対策等拠点施設(オフサイトセンター)に方面隊前方調整所を開設し、関係機関との調整・情報共有を行いました。

方面隊は、引き続き国民・道民の皆様との安全を期して参ります。



オフサイトセンターでの会議



ドローンの操縦



ホイスによる孤立住民救助



住民避難



関係機関との調整



ドローンによる映像伝送



簡易除染



避難退避時検査会場運営(除染場開設)



自衛隊札幌病院災害対処訓練

医療機関としての災害対処能力向上

方面隊は、11月9日(日)自衛隊札幌病院(病院長 森陸将)において道央地区(札幌市)における大規模震災(直下型地震)を想定した災害対処訓練を実施しました。

本訓練は、医療機関としての能力向上を目的で実施され、大量傷病者対処チームの運用及び患者への対応、DMAT(※)との連携病院におけるヘリ離着陸等を行いました。

今回の訓練では初めてドクターヘリによる患者搬送を実施し、民間医療機関との連携要領を確立する等、災害対処能力の向上を図ることができました。



ドクターヘリへの患者搬送



ヘリによる患者搬送



患者対応



大量傷病者対処チームによる患者搬送

※DMAT: Disaster Medical Assistance Team

札幌市内6個病院(札幌医科大学附属病院等)より計26名が参加



ヘリの誘導



DMATとの調整

ホーク・中SAM部隊実射訓練

対空の要としての対空戦闘能力の向上

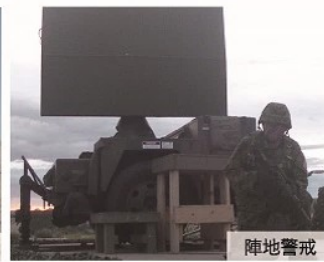
方面隊は、9月16日(火)から30日(火)及び10月14日(火)から28日(火)までの間、第1高射特科団(団長 青木陸将補)を担任部隊とし、アメリカ合衆国ニューメキシコ州マクレーガ射場において地対空誘導弾改良ホークの実射訓練を実施しました。

本訓練は、高射特科部隊の対空戦闘能力を向上することを目的として実施され、射撃準備、対空射撃における指揮官の状況判断、射撃指揮、射撃操作等の一連の作戦行動を実弾

射撃により演練しました。訓練は参加した全中隊の射撃が要撃成功の判定となり対空戦闘能力を大きく向上させ終了しました。



誘導弾搭載



陣地警戒



発射



射撃前の点検指揮



誘導弾運搬



北部方面隊創隊73周年記念行事

**73周年を迎え
決意を新たに**

方面隊は、10月24日（金）から26日（日）北部方面隊創隊73周年記念行事を挙行了しました。24日は、札幌市内のホテルにおいて、職務遂行に功績のあった隊員とその家族を顕彰する優秀隊員総監招待行事を行い、総監より褒賞状と記念品を授与しました。

26日は札幌駐屯地において、感謝状贈呈式を行い、方面隊に協力をお願いしている個人及び団体の功労に對して、総監より感謝状と記念品を贈呈しました。その後、記念式典を行い、多数の来賓の方々に臨席を賜うとともに、方面隊の各部隊、機関等の長が参加して厳粛かつ成功裏に行うことができました。方面隊は、この73年にわたり先人が培ってきた北海道の護りを継承しつつ、国民・道民の皆様との平和な暮らしを守るため、引き続き万全を期して参ります。



記念式典



方面隊最先任上級曹長による万歳三唱



感謝状贈呈式



優秀隊員総監招待行事表彰式



記念式典

優秀隊員褒賞状受賞者 ※部隊建制順

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------|-----------------------|-----------------------|---------------------|------------------------|--------------------|----------------------|-----------------------|-------------------------|-----------------------|--------------------|-------------------------|----------------------|---------------------------|--------------------------|--------------------------|-------------------------|-------------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 第3即応機動連隊
准陸尉 沖田 俊幸 | 第26普通科連隊
2等陸尉 我妻 明 | 第11普通科連隊
陸曹長 道下 雄仁 | 第71戦車連隊
陸曹長 山田 篤 | 第7後方支援連隊
2等陸尉 吉木 英克 | 第5音楽隊
准陸尉 田中 晶教 | 第11特科隊
1等陸尉 渡邊 丈敦 | 第11後方支援隊
准陸尉 工藤 直也 | 第1特科団本部中隊
准陸尉 松永 さゆり | 第1高射特科群
2等陸曹 小巻 真一 | 第12施設群
准陸尉 宮下 博 | 北部方面後方支援隊
2等陸曹 立石 雄太 | 北部方面衛生隊
陸曹長 久保 義明 | 北部方面対舟艇対戦車隊
1等陸尉 小野 文典 | 遠軽駐屯地業務隊
医(二) 3 加藤 英明 | 美幌駐屯地業務隊
行(二) 3 山崎 敬裕 | 静内駐屯地業務隊
1等陸尉 下川原 俊一 | 北海道補給処安平強要支所
行(二) 3 佐々木 克浩 | 自衛隊札幌地方協力本部
陸曹長 池口 和男 | 自衛隊帯広地方協力本部
陸曹長 井桁 紀子 |
|-----------------------|-----------------------|-----------------------|---------------------|------------------------|--------------------|----------------------|-----------------------|-------------------------|-----------------------|--------------------|-------------------------|----------------------|---------------------------|--------------------------|--------------------------|-------------------------|-------------------------------|--------------------------|--------------------------|

北海道殉職 隊員追悼式

**三百三十二柱の
御霊を鎮める**

方面隊は、10月25日（土）真駒内駐屯地において、北海道殉職隊員追悼式（主催者…北部方面隊、共催者…海上自衛隊大湊地区総監、航空自衛隊北部航空方面隊司令官及び北海道防衛局長を厳粛かつしめやかに執り行いました。ご遺族をはじめ、来賓の皆様、各部隊長等、多くの方々が参列する中、慰霊碑参拝、追悼式典を行い、三百三十二柱の職に殉じられた御霊に對し、哀悼の誠を捧げました。自衛隊の使命達成の陰に尊い犠牲があることを改めて認識するとともに、志半ばで職に殉じられた先人の御霊に敬意を表し、事に臨んでは危険を顧みず身をもって責務の完遂に努めることを改めて誓う一日となりました。



儀礼よう

北部方面隊音楽まつり

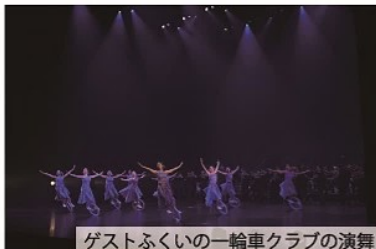
3300人の観衆を魅了

方面隊は、10月25日（土）札幌文化芸術劇場hitaruにおいて、北部方面隊音楽まつりを行いました。今年は2回公演で約3300名の皆様に鑑賞していただくことができました。様々な演出により、幅広い年代から高い評価をいただきました。

音楽まつりは、北部方面音楽隊（隊長 伊東 2佐）による国歌「君が代」演奏から始まり、各師団音楽隊のバリエーション豊かな演奏で観衆を魅了しました。続いて、北海自衛太鼓（第13施設群）を筆頭に道内3個太鼓チームによる迫力のある太鼓演奏に引き続き、特別ゲスト「ふくいの一輪車クラブ」の一輪車演奏と音楽演奏とのコラボレーションで観衆を魅了しました。

演出最終盤では、高い演奏技術が必要な楽曲を披露するとともに映像と音楽の融合で会場を盛り上げ、全出演者がフィナーレでは場内が一体となり大きな感動に包まれました。

終演後は、来場の皆様より「感動しました」「また来ます」とのお言葉をいただき、音楽まつりを通して自衛隊への理解促進を図ることができました。



ゲストふくいの一輪車クラブの演奏



合同ドリル演奏



バーコードによる受付



感動のフィナーレ



3個太鼓チームによる合同演奏



モコと記念撮影



終演後の見送り



令和7・8年度自衛官等採用案内



種 目	採用人員	資 格	受付期間 (締切日必着)	試験期日
自 衛 官 候 補 生	参考 (令和6年度) 陸：約890名 海：約800名 空：約1,200名 ※1	18歳以上33歳未満の者 (32歳の者は、採用予定月の 末日現在、33歳に達して いない者)	年間を通じて 行っております	受付時又は各自衛隊地方 協力本部のホームページ にてお知らせします。
陸上自衛隊 高等工科学校 生	参考 (令和6年度) 約230名 ※1	男子で中卒 (見込含) 17歳未満の者	10月1日～ 令和8年1月15日	1次：令和8年1月24・25日 2次：令和8年2月12・15日 ※いずれか1日を指定されます
自 衛 隊 奨 学 生	参考 (令和6年度) 陸：約40名 海：約40名 空：約40名 ※1	大学、大学院、高等専門学校等 で理学、工学、文学又は法学 ※2を専攻しており、正規の 課程を修了する年の4月1日 現在で26歳未満 (大学院在学者は28歳未満)	②12月1日 ～令和8年1月30日 ※3	②令和8年2月21日
令 和 8 年 度 予 備 自 衛 官 補	一般 参考 (令和6年度) 北部方面隊管内 約110名 ※1	18歳以上52歳未満の者	①令和8年1月22日 ～3月30日	①令和8年4月中 ※4
	技 能 募 参考 (令和6年度) 北部方面隊管内 約30名 ※1	18歳以上で国家資格免許等を 有する者 (資格により年齢上限は 53歳未満～55歳未満)	②令和8年5月23日 ～9月10日 ※3	②令和8年9月中

- (注) 1. ※1：令和7年度、8年度の採用人員につきましては、決定次第、自衛官募集ホームページ等でお知らせしますので、ご確認ください。
2. ※2：理学、工学、文学又は法学に類する学部・学科も応募資格に該当する場合があります。詳しくは最寄りの自衛他協力本部
お問い合わせください。
3. ※3：採用予定人員数の採用が見込まれる場合は、第2回目以降の試験を実施しません。
4. ※4：8年度の試験期日につきましては、決定次第、自衛官募集ホームページ等でお知らせしますので、ご確認ください。
5. 応募資格年齢の起算日は、欄目ごと異なりますので、それぞれの採用要項又は自衛官募集ホームページ等で確認してください。
6. その他、詳細については、各採用 (募集) 要項又は自衛隊地方協力本部で確認してください。
7. 記載内容については変更する場合があります。変更事項については自衛官募集ホームページ等でお知らせしますので、ご確認ください。

詳しくは QR コードまたは電話までお問い合わせください。



札幌地方協力本部
011(631)5472



旭川地方協力本部
0166(51)6060



帯広地方協力本部
0155(23)5882



函館地方協力本部
0138(53)6241



自衛官募集 X

自衛官等の処遇改善

自衛官候補生

初任給

(高卒)
224,600円

(大卒)
239,600円

※入隊から3か月は179,000円となります。

自衛官任用一時金

344,000円

※入隊から約3か月後、自衛官候補生から自衛官になったときに支給されます。

指定場所生活調整金 New!

管内又は艦艇内に居住する限り、採用から6年経過するまで
の間、新たに1年ごと20万円 (総額120万円) 支給

陸上自衛隊高等工科学校

生徒手当

月額138,000円

期末手当 (6月、12月)

各月約238,000円

★宿舎は無料

- ★食事・被服類・寝具は支給または貸与
- ★週休2日制、年末年始休暇、特別休暇あり
- ★自衛隊病院、駐屯地医療室においてほぼ無償で治療が受けられます。
- ★3学年修了時に高等学校の卒業資格を取得できます。

自衛隊奨学生

学資金として

月額80,000円を支援

★一定期間の勤務で返済免除!

- ★他の奨学金と併用可能!
- ★成績基準・所得制限・地域制限なし!
- ★卒業 (修了) 後は一般幹部候補生として採用

予備自衛官補

一般の社会人や学生といった自衛官未経験者が、所定の教育訓練を終了後に「予備自衛官」となる制度です。

予備自衛官は、普段それぞれの職業に従事しながら必要な知識・技能を維持するため定期的に訓練を受け、有事の際には自衛官となって後方の警備や後方支援、又は国民の保護のための措置などに従事します。



北部方面音楽隊

演奏会のお知らせ

第95回定期演奏会

応募はこちらの
QRコードから



陸上自衛隊 北部方面音楽隊 第95回定期演奏会

Northern Army Band Regular Concert

令和8年

2月21日 | 土

札幌コンサートホール Kitara 大ホール

令和7年12月11日(木)9:00～
令和8年1月22日(木)9:00

曲目

ラヴェル/ボレロ
加納明洋/我が身をかりみず 他

指揮/隊長
2等陸佐 伊東礼記

注意事項【必須】

※ご本人を含めて合計4人までの応募が可能です。
※応募は1名様1回限りとなります。
※座席の指定はできませんが、お身体の不自由な方は配慮いたしますので、
応募の申込事項欄にてお申し付けください。
※電子チケットは、メールにて送付されます。
※紙チケットは、メールにて送付されます。座席の指定はできません。座席の指定はできません。
※代金と同伴者を入れた応募は両方無効とさせていただきます。
※応募受付 (小学校入会費のお手紙) のご入会はお断りさせていただきます。

こちらのQRコードから
申し込みを
お申込みください



お問い合わせ 北部方面総監部広報室 TEL 011-511-0717 (平日9:30～12:00、13:30～16:30)

主催：北部方面隊
後援：札幌市、札幌市教育委員会、札幌地区音楽連盟

第28回室内楽演奏会

陸上自衛隊 北部方面音楽隊 第28回室内楽演奏会

Northern Army Band Chamber Music Concert

令和8年

3月8日 | 日

札幌コンサートホール Kitara 小ホール

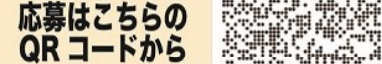
応募期間 令和8年1月7日(木)～2月2日(月)

入場無料
全席指定

主催：北部方面音楽隊
後援：札幌市、札幌市教育委員会、札幌地区音楽連盟

※ご本人を含めて4人まで応募可能です。応募は1名様1回限りとなります。
※代金と同伴者を入れた応募は両方無効とさせていただきます。
※応募多数の場合は、抽選となります。(抽選実施：2月下旬)
※抽選に当たらない方は、抽選結果をメールにてお知らせいたします。
※紙チケットは、メールにて送付されます。座席の指定はできません。
※代金と同伴者を入れた応募は両方無効とさせていただきます。
※応募受付 (小学校入会費のお手紙) のご入会はお断りさせていただきます。

こちらのQRコードを
読み込み
お申込みください



応募はこちらの
QRコードから

第238回

～心の健康相談室～

人生に潤いを与える言葉

じんしん しん
人心、一たび真なれば、
すなわ しも
便ち霜をも飛ばすべく、
おと きんせき つらぬ
城をも隕すべく、金石をも貫くべし。

(「菜根譚」前集・101)

これは、「心を強く念じていれば(夏にも)霜を降らすことも
でき、城壁を崩すこともでき、金石を貫き通すこともできる」
というのです。

即ち、心にはすごい力があり、「精神一何事か成らざらん」
ということではないでしょうか。

心の健康相談・カウンセラー 根本 和雄

北部方面隊の活動はホームページ及び各種 SNS をご覧ください。チャンネル登録及びグッドボタンをよろしくお願ひします。

YouTube

Instagram

Facebook

X

HP

ホーム
ページ

